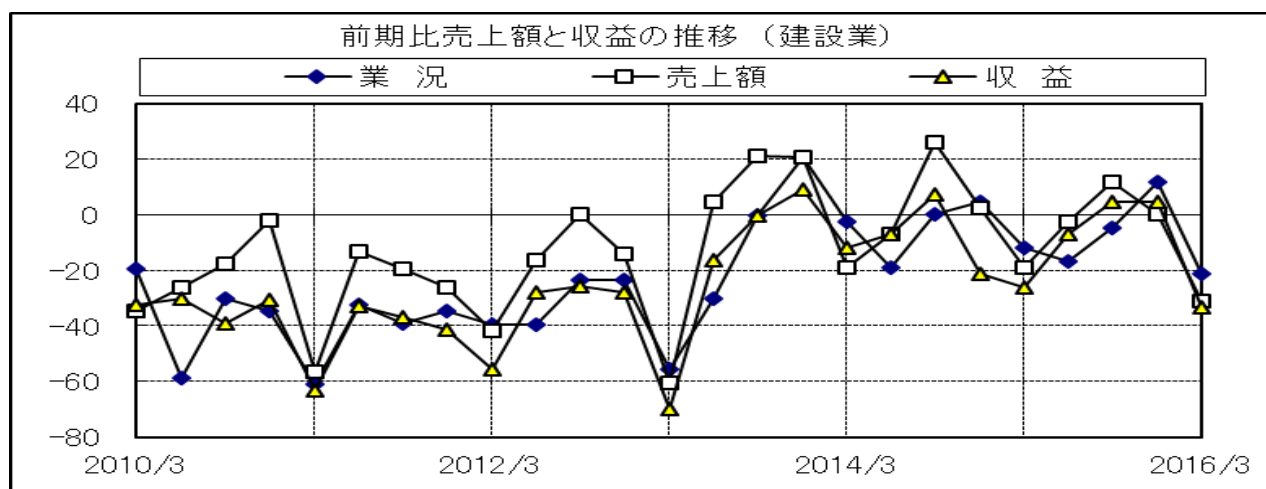


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-4.8	11.9	-21.4	2.3
売上額	12.0	0.0	-31.0	21.4
収 益	4.8	4.8	-33.4	14.3

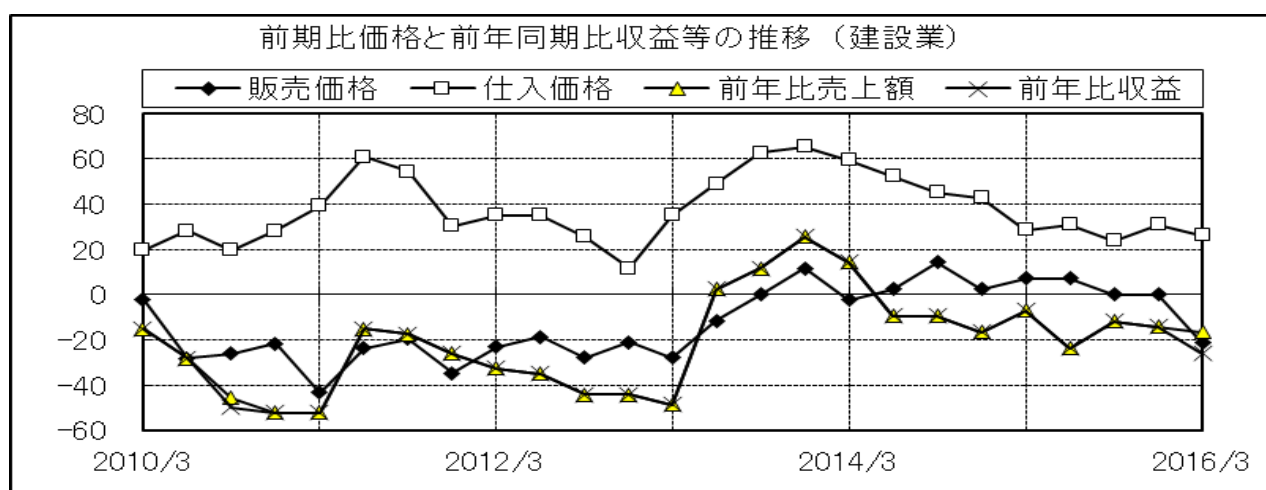
今期の業況判断 D. I. は△21.4 と、前期比 33.3 ポイント下降し、マイナス水準へ戻り悪化した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾、えりも、浦河、様似、三石と続き、静内が最も低水準となった。前年（△11.9）比でも、9.5 ポイントの下降となった。売上額判断 D. I. は、前期（0.0）比 31.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△33.4 と、前期比 38.2 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
請負価格	-0.1	0.0	-21.5	7.1
仕入価格	23.8	31.0	26.2	21.4

請負価格判断 D. I. は、前期（0.0）比 21.5 ポイント下降。仕入価格判断 D. I. は 26.2 と、前期比 4.8 ポイントの下降となった。前年比では請負価格（前年 7.2）は 28.7 ポイント下降、仕入価格（同 28.5）は 2.3 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-2.4	2.4	-16.6	-2.4
人手状況	-14.3	-23.8	-4.8	-7.2

残業時間判断 D. I. は△16.6 と前期比 19.0 ポイント下降し、マイナス水準に転換した。残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D. I. は△4.8 と、前期比 19.0 ポイント上昇し、人手不足感が緩和した。

□ 設備投資の動き

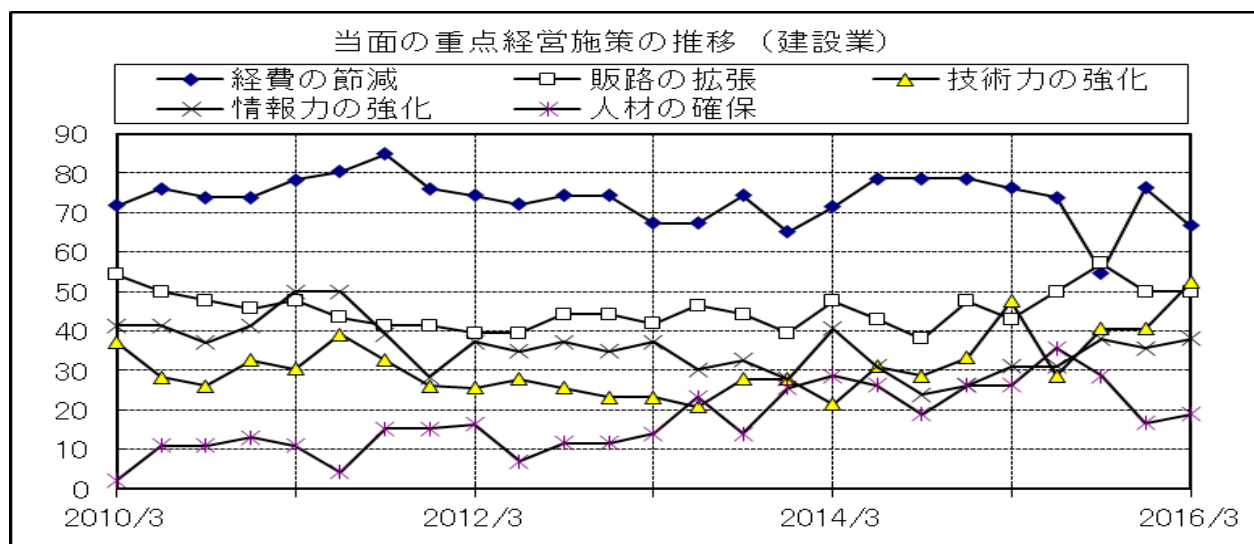
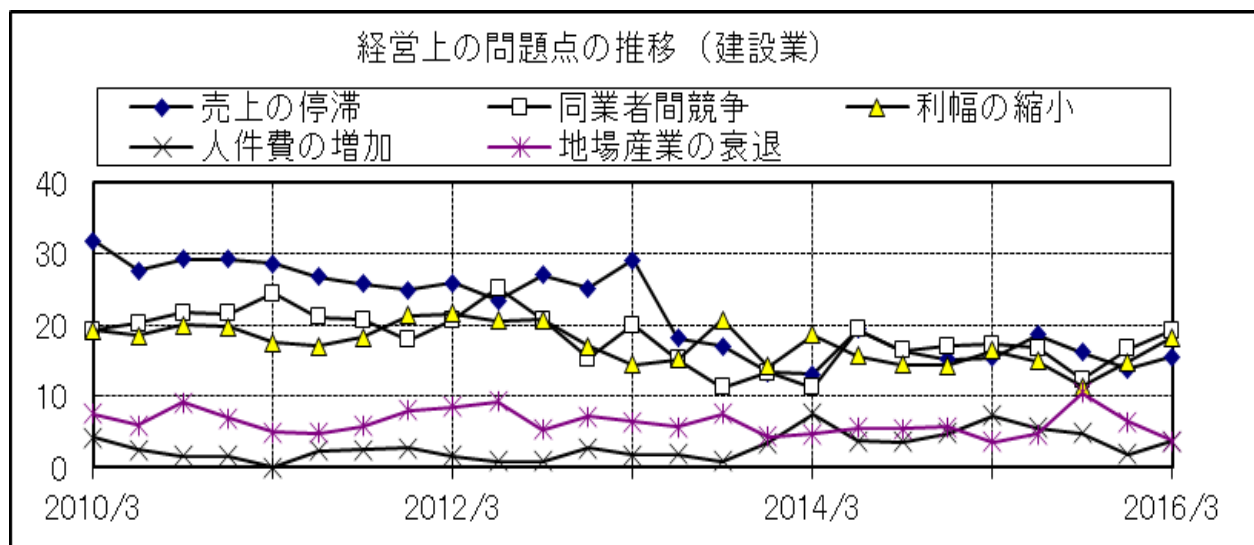
設備投資の充足感を示すD. I. は△2.3で、前期比4.8ポイント上昇し改善した。

設備投資実施企業割合は19.0%と、前期比2.4ポイント下降、設備投資は前期9社に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、9社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」19.3%、「利幅の縮小」18.3%、「売上停滞減少」15.6%、「大手企業との競争」が11.9%と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」66.7%がトップで、「技術力を高める」52.4%、「販路を広げる」50.0%、「情報力を強化する」38.1%、「人材の確保」19.0%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は2.3と、今期比23.7ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は21.4と、今期比52.4ポイントの大幅上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は14.3と、今期比47.7ポイントの大幅上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は7.1と、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

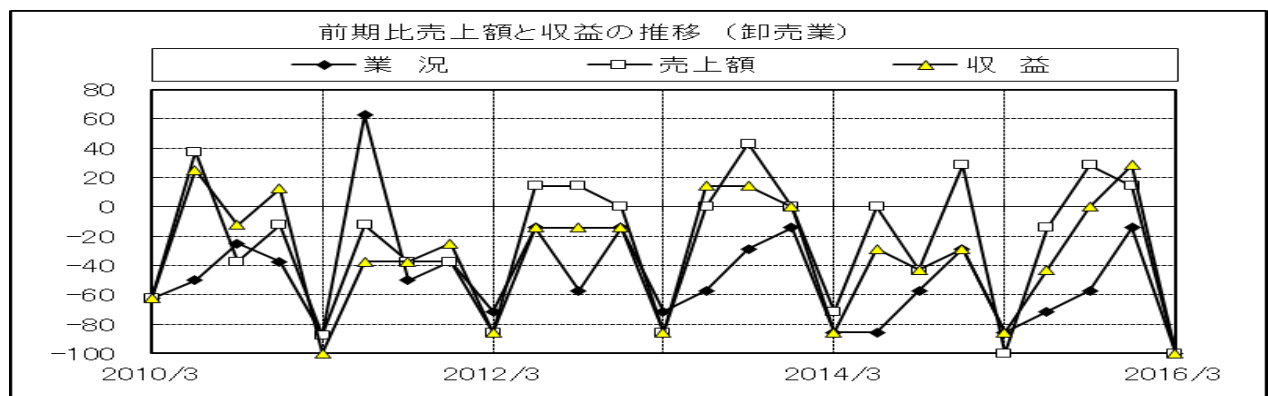
予想仕入価格判断D. I. は21.4と、今期比4.8ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 7 企 業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-57.2	-14.3	-100.0	-28.6
売上額	28.5	14.3	-100.0	0.0
収 益	0.0	28.6	-100.0	0.0

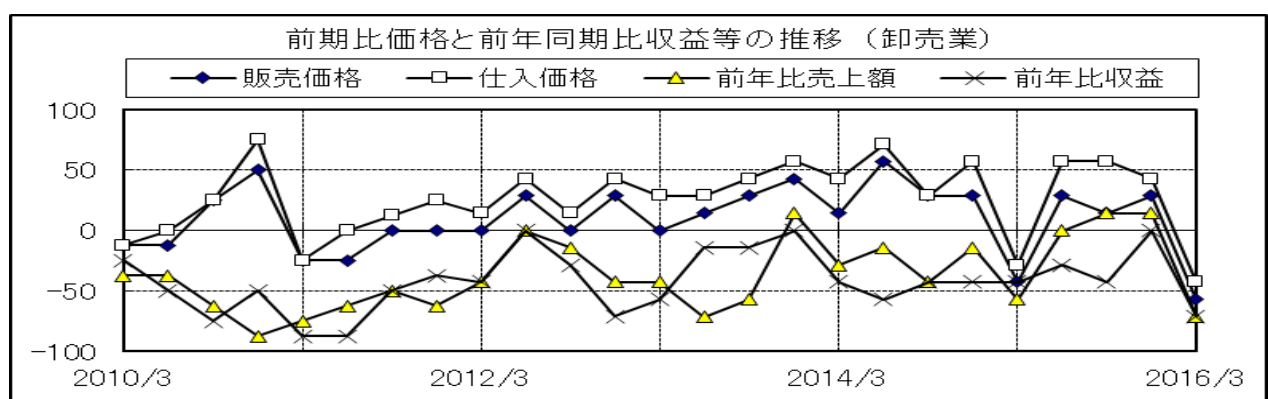
今期の業況判断 D. I. は△100.0 と、前期比 85.7 ポイント下降、大幅に悪化した。地区別の水準は、浦河・静内・様似地区で悪化した。業況は、前年（△85.8）比 14.2 ポイント下降した。売上額判断、収益判断 D. I. は△100.0 と、前期比 85.7、71.4 ポイントそれぞれ大幅に下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	14.3	28.6	-57.1	14.3
仕入価格	57.1	42.9	-42.8	28.6

販売価格判断 D. I. は△57.1 と、前期比 85.7 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は△42.8 と、前期比 85.7 ポイント下降した。業種別にみると、水産・食品が、販売・仕入価格ともに下降した。前年比では、販売価格（前年△42.9）は 14.2 ポイントの下降、仕入価格（同△28.6）も 14.2 ポイントの下降となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-14.3	42.9	0.0	0.0
人手状況	-14.3	-57.1	28.6	28.6

残業時間判断 D. I. はゼロ水準で、前期比 42.9 ポイント下降した。残業時間の増加が解消された。

人手過不足判断 D. I. は 28.6 と前期比 85.7 ポイント上昇、人手過剰感が強まった。

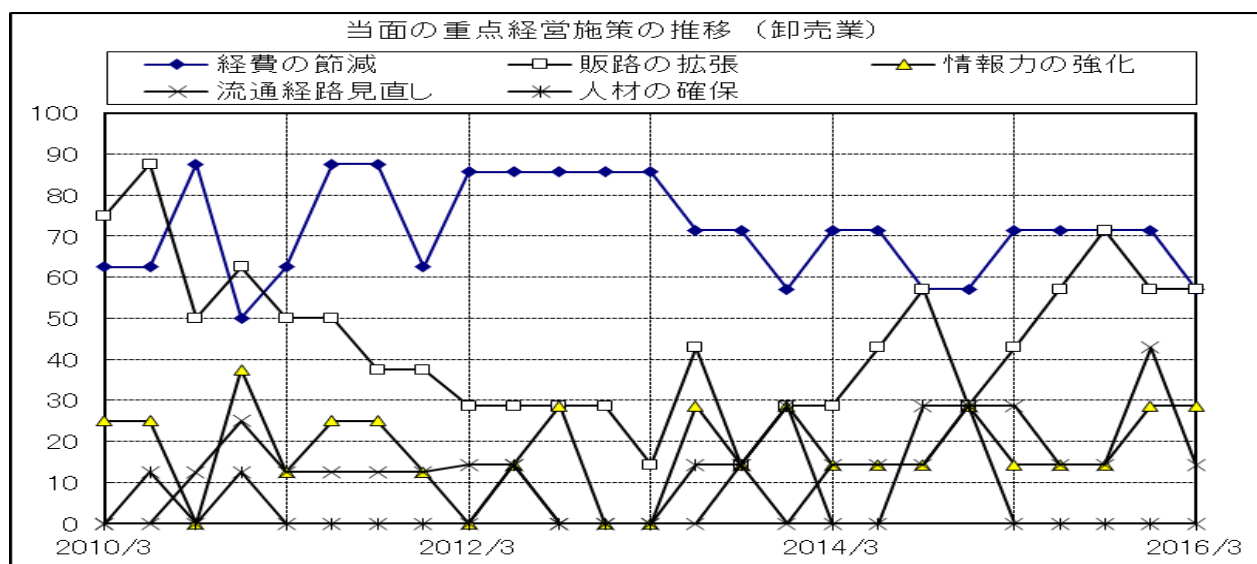
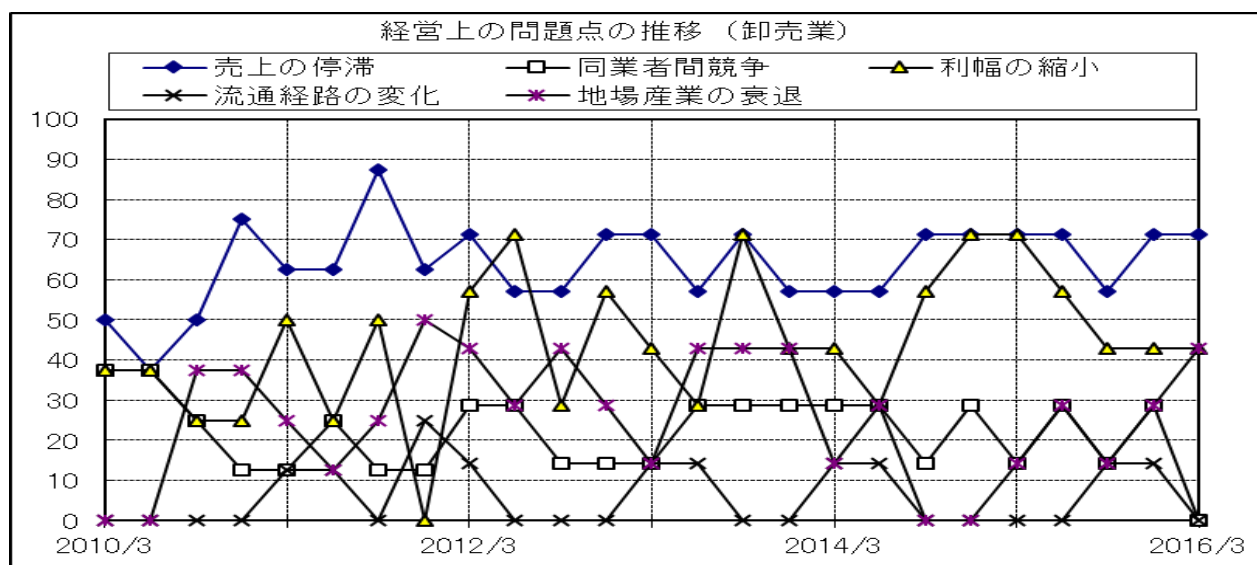
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準。設備実施企業割合は0.0%と前期2社に対し、実施0となった。来期の設備投資の予定は1社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」・「地場産業の衰退」が同率の42.9%、「合理化の不足」・「取引先の減少」・「天候の不順」がともに28.6%で続いた。

重点経営施策では、「経費を節減する」・「販路を広げる」が同率の57.1%、次に「情報力を強化する」28.6%、「品揃えを充実する」・「新事業を始める」・「流通経路を見直す」・「不動産の有効活用」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△28.6で、今期比71.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は0.0で、今期比100ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0で、今期比100ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は14.3で今期比71.4ポイントの大幅な上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は28.6で今期比71.4ポイントの大幅な上昇を見通している。